

# Notice board

## ■学会活動報告及び会告の原稿提出期限について (お知らせ)

学会活動報告及び会告について、学会誌に掲載をご希望の場合、各号発行日の前月末までに原稿をご提出下さいますようお願い申し上げます。

巻号	発行日	原稿提出期限
Vol.62 No.2	2025年3月25日	2025年2月28日
Vol.62 No.3	2025年5月25日	2025年4月30日

提出先：post@landslide-soc.org

## 発刊予定と投稿原稿の募集

予定巻号	発刊予定年月	特集内容 (予定)	投稿申込締切期日	原稿締切期日	募集要領掲載巻号
62(2)	2025年3月	地すべり対策工事および関連施設の整備	2024年4月15日	2024年7月31日	61(1)
62(3)	2025年5月	—	—	—	—
62(4)	2025年7月	最新のリモートセンシング技術と地すべりの研究	2024年8月31日	2024年11月30日	61(3)
62(5)	2025年9月	—	—	—	—
62(6)	2025年11月	令和6年能登半島地震で発生した斜面変動	2024年12月15日	2025年4月15日	61(5)
63(1)	2026年1月	—	—	—	—
63(2)	2026年3月	地すべり地形のリスク評価におけるAHP	2025年4月15日	2025年7月31日	62(1)
63(3)	2026年5月	—	—	—	—

## ■特集「地すべり地形のリスク評価におけるAHP」 原稿募集

これまで、地すべり地形のリスク評価として、空中写真を用いた地すべり地形の抽出、DEMを用いた地形解析、過去の地すべりデータを用いた統計解析などが行われ、総合的な評価としてAHPが重要な役割を果たしてきました。近年、LPデータなどの詳細な標高データの整備、衛星データの活用、ドローン撮影などの新技術も生まれ、AHP等により、地すべり地形の安定性判断、コストを抑えた対策、土地・環境保全の検討など、新たな取り組みが行われています。2024年9月17日に開催された日本地すべり学会第63回(2024年度)研究発表会では、「地すべり地形のリスク評価法の新展開—AHP評価の再考—」をテーマとした特別セッションが開催されました。今後もAHPの役割は重要となる考えられることから、地すべり学会誌上におきましても、地すべり地形のリスク評価におけるAHPに関する原稿を広く募集いたします。本特集号にふるってご応募いただきますよう、よろしくようお願い申し上げます。

○特集名：地すべり地形のリスク評価におけるAHP  
英文：Analytic Hierarchy Process for Landslide Risk Assessment

### ○公募原稿のテーマ例

- ①地すべり移動のAHPによる評価
- ②AHPによる地すべりリスク評価
- ③AHPの活用事例
- ④AHPによる対策優先度評価事例

### ○募集原稿：研究ノート、論文、技術報告、総説

○発刊予定：第63巻2号(2026年3月末頃発行予定)

○投稿申込み：2025年4月15日までに日本地すべり学会事務局あてメールにて送付

- ・申込みアドレス：post@landslide-soc.org
- ・メールの題名：特集号原稿申込(著者名)を記入
- ・申込み項目：特集名、題名、著者名、所属、連絡先住所、電話、メールアドレス、原稿種別、要旨(200字程度、添付ファイルとせず、本文に入れてください。)

### ○原稿執筆

- ・執筆要項：学会誌第62巻1号または学会HPに掲載の執筆要領
- ・原稿締切：2025年7月31日
- ・原稿送付先：<https://www.editorialmanager.com/jls/>  
(Editorial Managerを利用した電子投稿とします。)

なお、投稿いただいた原稿は通常号の原稿と同様に査読を行います。したがって、内容によっては通常号への掲載をお願いすること、あるいは掲載をお断りすることもありますので予めご了承ください。